

| 順位 | 氏名（議席）    | 発言の要旨  | 答弁者              |
|----|-----------|--|------------------|
| 13 | 井出 晴美（16） | <p>1. 衛星画像の解析による水道管の漏水調査について</p> <p>水道管の漏水は、管の老朽化、地震、凍結による管の破損が原因で、地下で漏水しており、多くの場合、地上に水が出てこないため、発見は非常に困難とされています。</p> <p>また漏水により、大切な水が無駄になったり、水圧が低下し、水の出が悪くなるほか、道路の陥没などの二次災害を引き起こすこともあります。その対策として、早期の発見が重要とされています。本市においても漏水調査を実施し、対策に取り組んでいただいていると思いますが、ただ、漏水による市民の通報は年間1400件以上と伺っており、漏水修繕の多くは突発的な緊急の対応となり、修繕受託者及び職員は昼夜を問わず、漏水修繕業務に追われていると伺っています。市民にとって漏水の修繕は待たないで済むことを考えますと、日夜業務に取り組む職員の皆さんには心から感謝を申し上げます。</p> <p>そこで、衛星画像を活用した取組として、豊田市の取組を提案させていただきたいと思えます。</p> <p>豊田市は、令和2年8月に、全国で初めて衛星画像の解析による水道管の漏水調査を行いました。この調査では、断水、濁り等、市民生活へ影響を及ぼす大きな要因となる水道管の漏水を未然に防ぐため、衛星画像から水道水の反射特性をAIで解析することで、調査範囲（漏水可能性区域）を絞った効率的な漏水調査ができるということです。</p> <p>この絞り込み結果に基づき、現地で漏水音を確認する路面音聴調査を令和2年9月から令和3年4月にかけて実施したところ、多くの箇所が漏水が発見でき、もともと調査に5年間かける予定であったものが、実質7か月間に短縮ができ、費用についても、期間の短縮と同程度の削減ができたという旨を伺いました。</p> <p>そこで、お伺いたします。</p> <p>(1) 本市の漏水調査の現状について伺います。</p> <p>(2) 本市においても衛星画像の解析による水道管漏水調査を実施してはと考えますが、見解を伺います。</p> <p>2. 富士市SDGs未来都市計画の進捗状況について</p> <p>SDGs未来都市に選定されて1年半が経過しました。最近では、SDGsについてメディアでも様々な形で取り上げられ、多くの方がSDGsという言葉を知るところとなり、関心も高まっているものと思われます。本市では、これまで富士市SDGs未来都市計画の策定、SDGsバッジの作成、SDGsのロゴマークの決定等、様々な取り組みをいただいていることは承知しています。しかし、まだまだ何をすればいいのか分からないという方も多くいらっしゃるのと同時に、富士市がSDGs未来都市に選定され取り組んでいる市であることを知らない人も多いと感じています。計画の中には2030年に向けての計画が示されており、中でも自治体SDGsの</p> | 市長<br>及び<br>担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席）    | 発言の要旨   | 答弁者              |
|----|-----------|---|------------------|
| 13 | 井出 晴美（16） | <p>推進に資する取組には、①新産業を始めとした多彩な産業の振興、②一人ひとりが輝ける働き方の実現、③持続可能な社会の創り手・担い手を育む、④災害に強い安全・安心なまち、⑤富士山及び駿河湾の自然環境の保全、⑥環境共生社会の推進、⑦環境活動・環境教育の推進が示され、それぞれに2022年度までのK P I（目標までの達成度合い）が示されています。</p> <p>そこでお伺いたします。</p> <p>(1) 2022年度までのK P I 達成に向けた進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 本市がSDG s 未来都市に選定された自治体であることが一目で分かるようなディスプレイを市民課に掲げるとともに、担当課の看板には、関係する開発目標マークを掲示するなど、市民がSDG s を身近に感じられるような工夫をしてはと思いますが、見解を伺います。</p> | 市長<br>及び<br>担当部長 |